

令和7年7月25日

ウォーカブルなまちづくりの活動 提案書

活動名	神田駅西口地区まちなかウォーカブルプロジェクト 「KANDAフェス2025 ～まちに人が集う“みんなの神田”～」
提案者名	学校法人佐野学園、神田外語学院、神田外語大学、 神田駅西口商店街振興組合、内神田旭町々会、多町一丁目町会
提案者の所在地	千代田区内神田2-13-13（学校法人佐野学園）
【下記事項について記載してください。】 ○開催時期：令和7年10月上旬～中旬 ○活動場所：神田駅西口地区（内神田中央通り、神田多壱小路 他） ○目 的： ① 地域の居心地向上とQOLの改善 - 千代田区が推進する「ウォーカブルなまちづくり」の理念に基づき、公共空間を活用して人が集い、滞在したくなる環境を創出。 ② 地域コミュニティの活性化と関係性づくり - 地元住民・在勤者・在学者・来街者が交流できる場を創出し「顔の見える関係性」「まち全体の一体感」を育む。 ③ 地域資源の再発見と発信 - 神田の歴史・文化・商業の魅力を再発見するとともに、多文化共生・国際交流をはじめとした新たな取り組みを加え、地域ブランドの向上を図る。 ④ プレイスメイキングの実証と継続的なまちづくりのきっかけづくり - 令和6年度に実施したプレイスメイキング実証実験の結果を踏まえた、課題解決アプローチを実施し、今後のまちづくり検討へ継承・発展させる。 ○活動内容： ① みんなの広場プロジェクト - 空き地や駐車場を一時的に広場化 - 休憩スペースや飲食販売、ワークショップエリアを設置 ② 神田カルチャーライブ・KANDA's Got Talent - 地元の方々による音楽・パフォーマンス - 学生・地域団体によるステージ発表 ③ こども神田探検隊・神田ウォーキングツアー - こども向けのまち探検・ウォーキングツアー - 観光コース学生による地域案内 ④ 神田の未来を語るトークセッション - 地元関係者や住民、企業、学生による公開トークセッション - ウォーカブルなまちづくりの可能性を議論 ⑤ 神田のまちを考えるワークショップ - 教育機関と事業者とが連携し各種ワークショップを開催 - こどもから大人まで、多世代が学び楽しめるコンテンツを実施	

※参考（企画イメージ）

① みんなの広場プロジェクト



② 神田カルチャーライブ・KANDA' s Got Talent



③ こども神田探検隊・神田ウォーキングツアー



【スケジュール】

- 7月中旬 関係者間での検討開始（商店街・町会・企業・教育機関等）
- 7～8月 道路占用・使用許可、地域調整
- 9月上旬 チラシ配布（周辺飲食店等への協力依頼）、関係者調整
- 10月上旬 広場活用実験開始（神田多壱小路に憩いスペースを暫定設置）
- 10月中旬 KANDAフェス2025開催
- 11月中旬 イベント結果や意見に基づいた今後のウォーカブル施策の検討
- 12月中旬 地元関係者へ向けた活動報告会

【今回の活動を行いたいと思った理由】

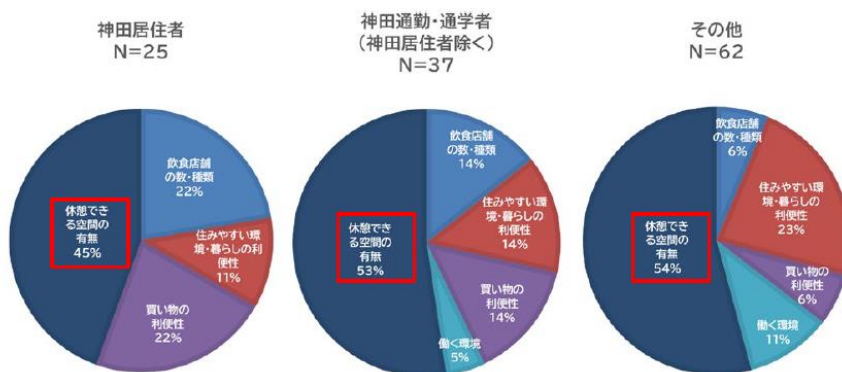
神田駅西口地区は、歴史ある商業地としての魅力を持ちながらも、近年では通過型の空間となりがちで、地域内での滞在や交流の機会が限られているという課題があります。また、地域住民・事業者・来街者の関係性が希薄になりつつあり、まちのにぎわいや愛着の醸成が求められています。

令和6年度に千代田区が実施した「まちなかウォーカブルプロジェクト」では、公共空間を活用したプレイスメイキングの可能性が示され、地域の人々が関わることでまちの風景が変わることを実感しました。

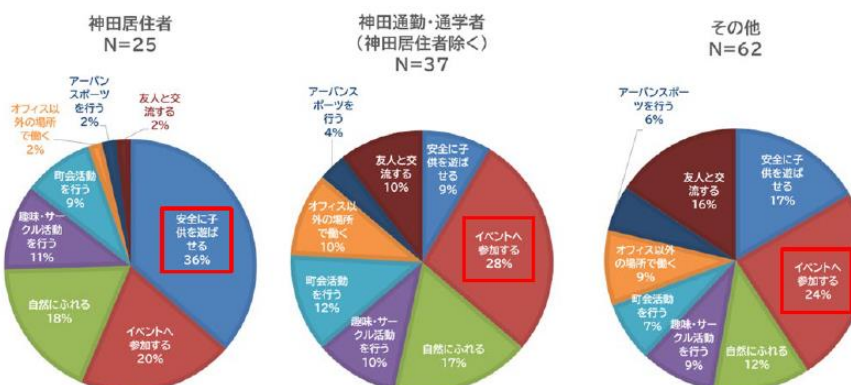
この経験を踏まえ、私たちは「KANDAフェス2025」を通じて、神田のまちに人が集い、関係性が生まれる場をつくりたいと考えています。歩いて楽しい、滞在したくなるまちを実現することで、地域の魅力を再発見し、住民・事業者・来街者が「自分ごと」としてまちに関わるきっかけを提供したいという思いから、本活動を企画しました。

※参考（令和6年度プレイスメイキング実証実験での調査結果）

- ・ 神田駅西口エリアでは、「休憩できる空間」「参加できるイベント」が求められていることがわかりました。
- ・ その結果を踏まえ、今年度の企画では「空き地や駐車場の一時的な広場化と、広場を使つての休憩空間の創造」「老若男女、学生・地元住民・企業問わず、多様な属性の方が楽しめるイベントの開催」を実施いたします。
- ・ また、本企画は昨年同様に実証実験としても調査を実施し、今後の更なるまちなかウォーカブルの推進、神田駅西口エリアならではのまちづくりの検討に活用します。



神田駅西口エリアにおける不満要素



広場があったら行いたい行動

【実施体制・各主体や団体内の役割分担】

- 主 体：学校法人佐野学園、神田外語学院、神田外語大学、神田駅西口商店街振興組合内神田旭町々会、多町一丁目町会
- 協 力：神田駅西口地区まちづくり市街地再開発準備組合（予定）
- その他：周辺店舗や市民活動団体等に協力を依頼。

【収支予定】

収入：100万円（千代田区助成金30万円（希望）、企業等からの協賛費70万円（目標））

支出：100万円（広場等の使用料金、広告費、備品・消耗品費、協力店舗等への謝礼金等）

【区からサポートしていただきたい事項】

- ① 後援名義、道路占用許可、道路使用許可の支援
 - ② 広報支援（広報ちよだやHPへの掲載、町内看板の利用等）
 - ③ 活動費用の支援（30万円）
 - ④ イベント当日の参加
- 神田駅西口地区におけるウォーカブルまちづくり活動への検討支援

【今回の活動後、継続的な活動を検討されている場合はそちらも記載してください。】

昨年のプレイスメイキング実証実験「つながる神田プロジェクト」に引き続き、学園とまちが一体となってまちの賑わいを創出する試みを、今後も毎年継続して行っていく予定です。

KANDAフェスを今後の神田駅西口エリアのまちづくりにおける、まちの人気イベントとして発信していくことをめざしており、回を重ねる事で神田らしい親しみやすさと国際性のある多様な交流の在り方を実験する貴重な機会としていきたいと考えています。

【今回提案する活動のポイントを記載してください。】

- 学生・地域・企業がコンソーシアムを組んで開催する新たな「まちフェス」
- 「まちの秋祭り」と「学園祭」の一体化
- 学生×地域住民×企業のコラボレーションにより「地域活性×国際交流」をめざす

本活動に採択された場合、実施するにあたって下記に同意していただく必要がございます。同意いただける場合は、各項目の口にチェックを付けてください。

☒募集要項に記載の「3 応募資格」および「4 活動の要件」を満たしていること

☒採択後に本活動の趣旨に明らかに適していないと区が判断した場合は、活動の支援を取りやめる可能性があること

☒今後のさらなるウォーカブルなまちづくりの推進に向けて、提案書や活動報告書等については千代田区のホームページ等にて公開するため、了承の上作成すること

☒今回の活動を機に、その後の活動の支援を確約できるものではないこと

※上記に加え、企画書や説明動画などの補足資料を添付していただいても構いません。